

ラ・スクムーン (1972)

LA SCOUMOUNE

メディア 映画

ジャンル 犯罪 ドラマ

製作国 フランス

色彩 Color

時間 108分

初公開日 1973/06/16

公開情報 N C C

映倫 G

【キャッチコピー】

ドロン、マッキーーンに挑戦するベルモンドの〈第3〉正統派暗黒映画巨篇！
狼の過去を持つ 鬼才ジョヴァンニが 自らの半生を 衝撃的にえぐった 話題の実録ドラマ

【解説】

暗黒街育ちのジョヴァンニが自身の獄中生活で知った男をモデルに書いた小説を映画化。戦前のマルセイユで死神と恐れられる名うてのギャングにベルモンドが扮し、いぶし銀の魅力を放つ。ボスの罠にはまり無実の罪で投獄された親友で恋人ファンファンの兄を救うため、復讐殺人を犯し自ら入獄、友と共に脱出を図ろうと綿密な計画を練る。時あたかも対独戦のさなか。親ナチ、レジスタンス入り乱れる獄中で武器の調達も不可能ではない。倉庫番となった彼らは拳銃をバラして持ち込もうとするが、取り引き相手のやみ商人がナチに逮捕されたため頓挫。今度は浜辺の不発弾処理に従事し、その隙に逃げようと企むが、ムキになって危険を犯した友は爆風で片腕が不具になる。時がすぎ、戦後釈放された二人は町に戻るが、既に彼らのような昔気質は歓迎されなかった。友と恋人のため荒っぽい手口でナイトクラブ経営の権利を巻きあげた“死神”だったが、仕返しに友は殺され、恋人は瀕死の重傷を負う。そして“死神”は仲間の制止も聞かず、一人殴り込みに行く……。手回しオルゴールの音に始まった映画は、やはりその響きの中、路地の階段を上っていく男の後ろ姿で終わる。ジョヴァンニの最高傑作。

【クレジット】

監督	ジョゼ・ジョヴァンニ	Jose Giovanni	
製作	レイモン・ダノン	Raymond Danon	
原作	ジョゼ・ジョヴァンニ	Jose Giovanni	
脚本	ジョゼ・ジョヴァンニ	Jose Giovanni	
撮影	アンドレア・ウィンディング	Andréas Winding	
音楽	フランソワ・ド・ルーベ	Francois de Roubaix	
出演	ジャン＝ポール・ベルモンド	Jean-Paul Belmondo	ロベルト
	クラウディア・カルディナーレ	Claudia Cardinale	ジョルジア
	ミシェル・コンスタンタン	Michel Constantin	ザビエ
	エンリケ・ルセロ	Enrique Lucero	ミグリ
	アルド・ブフィ・ランディ	Aldo Bufi Landi	ピアノバ
	アラン・モテ	Alain Mottet	ストリング
	ミシェル・ペイルロン	Michel Peyrelon	エレガント
	アンドレア・フェレオル	Andrea Ferreol	
	ジェラルド・ドパルデュー	Gerard Depardieu	